

主権者教育について【2・3年生ホームルーム活動】

2年生向け主権者教育の実施

9月20日（木）2年生のホームルーム活動で、主権者教育を行いました。今回は人口減少に苦しむ市の郊外に大型ショッピングモールが誘致されるという架空の設定で、約6名が1グループになり、賛成か反対かを議論しました。グループのメンバーにはそれぞれ異なる立場の役割が与えられ、その役割になり切って議論をしました。

この授業を通じて、現代社会の諸問題は複雑で多様化しており、様々な人々の利害対立がある事、その上で、自分の考えのみならず他人の考えも聞き入れ、望ましい解決策を導く努力の必要性を学びました。



グループごとに分かれて議論する様子



賛成か反対かを協議する様子

3年生向け主権者教育の実施

10月4日（木）に、岐阜県選挙管理委員会飛騨地方事務局と下呂市選挙管理委員会の協力の下、3年生に向けた主権者教育を実施しました。初めに選挙制度などのお話を聞いた後、本物の投票箱、投票用紙を用いて代表生徒による模擬投票を実施しました。一番最初の投票者が行う「空虚確認（投票箱の中に何も入っていないかの確認）」から、開票までの流れを実際に体験できました。選挙権年齢が18歳に引き下げられ、選挙で投票することが身近になった3年生にとって、大変有意義な時間でした。



選挙制度の説明を受ける様子



模擬投票をしている様子